

## 市政を問う 一般質問 質問事項・答弁の要旨

### 国分寺駅南口東側スロープ、 ついに予算化！

日本共産党国分寺市議団 幸野 おさむ

問) スロープが予算化された事を評価する。

部長) 勾配5.6%で、3月末には完成する。

問) ●非核平和都市宣言25周年事業は、市民と一緒に取り組んだ結果、意識の共有、継承に成功している。長崎で開かれた平和市長会議総会を傍聴してきた。市長も政治的な目標を掲げ、具体的に行動すべきだ。

市長) 平和市長会議の一員として同じ行動をとっていく。具体的な行動は検討する。

●雇用・生活・住居・就労支援の充実を

問) 失業率・求人倍率ともに戦後最悪だ。国や都が次々と対策を打ち出している。市として実質的に担える体制の強化が早急に必要だ。

部長) 来年度の方向性を示していきたい。

問) 来年度でなく、すぐにやるべきだ。

市長) 早急に検討を進めて対応していきたい。

問) 住居支援として国の補正予算を活用し、アパートや空き社員寮の借り上げを実施せよ。

部長) 独自に借り上げる予定はしていない。

問) 生活保護を受ける際、住居が確保できずに待たされる。カプセルホテルに入ってもらうこともある。全く足りていないのが実態だ。

市長) 市は市として、しっかり対応していく。

●北口再開発について付帯決議との関連で

問) 経済動向と成立性の認識は。

部長) マンション市況、商業環境、オフィス需要は非常に厳しい状況。しかし何とか事業を達成していくことが求められている。

問) 達成させることは市民の願いだ。しかし、市議会の付帯決議は遵守すべきだ。

### 市民の生活・環境と まちづくりの課題

日本共産党国分寺市議団 やなぎ 孝義

《都道3・2・8号線(36m道路)について》

①既存生活道路との接続問題

問) 市民の中での合意形成は。

担当部長) 平成22年度に行う。

問) 平成22年度から都は詳細設計に入ることになっている。市民の合意形成ができた時には、都は詳細設計を進めているではないか。市民意見の反映ができるのか。

担当部長) 都との協議の中では、23年・24年も間に合うと言われている。文書の交換は無いが、都との信頼関係でやっている。

※覚書等の文書を交わすことを求めました。

②環境問題

問) 都は昨年環境基本計画を改定した。大気汚染や騒音などの環境基準も、新しい計画に見合ったものになるべきではないか。

担当部長) 最新の環境基本計画を尊重して対策に取り組むよう要望を続けたい。

《ぶんバスの改善について》

問) 西町ルートが坂上まで上がることが可能に

なるよう、行政内部での協議など、物理的問題を解決する余地はあるのではないかと。

建設部長) 陳情趣旨に沿って検討している。

《市内事業者支援施策の改善について》

問) 小口事業資金融資制度の不備で、融資が受けられない事態についての改善検討状況は。

市民生活部長) 突破する方向で検討する。

※この他「市民サービスを向上させる」という公約の具体化など、星野市長三期目の政治姿勢について質しました。

### なぜ固定資産税・都市計画税は 上がったのか

自民党・新和会 井沢 邦夫

1. 不況でどの家庭でも収入が減っている。土地を含め個人の資産価値も減少しているのに、今年度どうして固定資産税・都市計画税が上がったのか。通常3年毎の見直しとなっているが、来年度以降について特例を含め下げられる見込みはあるのか。また、納税者へは「上がる」ということについて、もっと分かりやすく丁寧な説明が必要ではないか。

【市】今年度の算定基準となった平成20年1月1日の公示価格が上がっていた。但し21年度公示価格と基準地価が下がっているため、平成22年度の税額については下がる可能性がある。広報については一層努力する。

2. 指定管理者の効果と利用者評価はどうか。利用者からは会議室の交代時間の融通や自主事業による制限について不満を聞く。利用者懇談会やアンケートを頻繁に行い、利用者の意見が反映できるようにして欲しい。

3. 高齢者や青少年健全育成のための各種施設に対する要望が高い。最近では要介護高齢者の「老老介護」が増え、施設入居希望の待機者も多い。介護施設の一層の拡充を求める。また青少年を含めた健康増進のための施設確保に向け、遊休公的施設・民間施設や近隣市との相互利用を積極的に進めて欲しい。

4. 将来の市行政を担うべき管理職の試験受験者が少ない。総人件費抑制をはかりつつ、職責に見合う給与制度への更なる改革を望む。

5. 収支均衡予算の達成年度まであと2年しかない。今後の財政運営は大丈夫か。

### 市長公約の立場で 主体的な市政運営をすべき

日本共産党国分寺市議団 中山 幸子

問) 5月議会で西武国分寺線踏切の安全対策は平面を主に秋までに結論を出すかと答弁。市長選で立体交差を延伸し安全対策を検討と公約した。暫定平面交差の具体化を示せ。

市) 平面交差は断念。現踏切の安全対策を図る。問) 断念は誰が、どこの場面で決めたのか。

市) 庁議にはかけていない。

☆付帯決議の立場で、暫定平面の方針をもて。

問) 市長選で「待機児ゼロ」と公約。解消に向けての具体化を示せ。

市長) 詳細な現状分析し、今後努力する。

問) 旧定義で158人の待機児。この間の議論で2つの保育所は必要。その指示を出せ。

市長) 選挙は6月で、すぐの具体化は無理な話。

☆ひかり保育園舎計画と土地の確保も求めた。問) 介護保険認定見直しでの国の動向の評価は。市) 認定が下がらないよう努めたが、しかし、混乱はあった。

問) 緊急ショートの見直しと特養ホーム増設は。市) ショートはH22年1月半ばには実施を計画。特養ホームの誘致は検討を始めている。

問) 各種制度の規則等にある「市長が認める場合」への対応はどのようにしているか。

市) 状況を把握し、制度の趣旨に沿って判断する。今後丁寧な説明と主訴を受け止め対応する。

問) 医療窓口負担での厚労省の新たな通知への市の対応と無料低額診療・一部負担金減免制度(国保法)の市の取り組み状況は。

市) 周知は不十分。窓口や市報等を含め周知する。☆後期高齢者医療制度廃止の声を市長に求めた。

### 国分寺駅北口の 再開発事業について

生活者ネット・市民クラブ 星 文明

星) 昨年の12月に示した工程表どおりに進んでいるのか。

都市開発部長) 法上からも求められている土地建物物件調書がほぼ完了し、順調に進んでいる。

星) 昨年9月のいわゆるリーマン・ショック以来、事業計画の見直し等が行われていないが、問題はないのか。

都市開発部長) 権利変換のポイントは、事業参加に向けた床の配置だ。いくつかの課題があって協議中だ。経済変動については、不動産業界は商業床、新築マンションとも価格の低迷が続いており、大変厳しい状況だ。再開発事業の宿命の保留床処分が課題だ。事業計画の見直しも必要ないとは言いきれない状況だ。

星) 関係権利者の生活再建が大事との発言だが、事業の延伸はないか?。事業はもとより事業費の見直しをするということか。

都市開発部長) 事業では保留床の価格設定が厳しい。保留床処分の達成可能ならしめるための見直しは必要だ。

星) 区域内の建物等の除却が行われるが、図書館の分館はどうするのか。

都市開発部長) 当然、仮設ということ想定して用地も検討している。

星) 50メートル規制は大丈夫か。

都市開発部長) 明確な方針を持っており、その対応については、遺漏ないように進める。

星) 裁判はどうなっているのか。

都市開発部長) 裁判については、9月14日、第6回公判予定だ。

### 閉会中の委員会等

委員会はどこでも傍聴できます。

平成21年第3回定例会～平成21年第4回定例会の間の委員会は下記のとおりです。

10月20日(火) 議会運営委員会

23日(金) 総務委員会

27日(火) 厚生委員会

29日(木) 国分寺駅周辺整備特別委員会

30日(金) 文教委員会

11月 2日(月) 建設環境委員会

9日(月) 代表者会議・議会運営委員会

議事担当 (内468)